

第6回

バナナ・果物

消費動向調査

日本バナナ輸入組合
2010年8月
(8月7日はバナナの日)

目次

調査概要	2
調査結果	
よく食べる果物	3
果物を食べる頻度	3
バナナを食べることが多いタイミング	4
朝食に食べる物	4
バナナを食べる頻度	5
この1年でバナナを食べる頻度(量)が変化した理由	5
バナナを食べる理由	6
バナナを食べているシーン	6
知られているバナナの栄養素	7
知られているバナナの効果・効能	7
気になるバナナの効果・効能	8
知られているバナナの効果・効能×気になるバナナの効果・効能	8
バナナを買うときの基準	9
バナナの価格意識	9
統計資料	10

調査概要

●調査目的

本年で6回目の調査となる『バナナ・果物消費動向調査』では、例年に引き続き、バナナの食用実態や購入実態の把握を目的とするとともに、本調査では、新たに近年注目が集まってきているバナナの栄養素や効果・効能に対する一般消費者の認知度についても調べました。

●サマリー

バナナは6年連続よく食べる果物で1位となりました。

バナナの栄養素としては「食物繊維」「糖質」「カリウム」などの認知度が高く、バナナの効果・効能としては「糖質の吸収が早く、朝食や運動時に適している」「豊富な食物繊維により消化を助ける」「腹持ちがよい」などが認知されていました。

●調査対象 : 全国16歳以上の男女

●調査時期 : 2010年06月29日～2010年06年30日

●調査方法 : インターネット

●属性割付 :

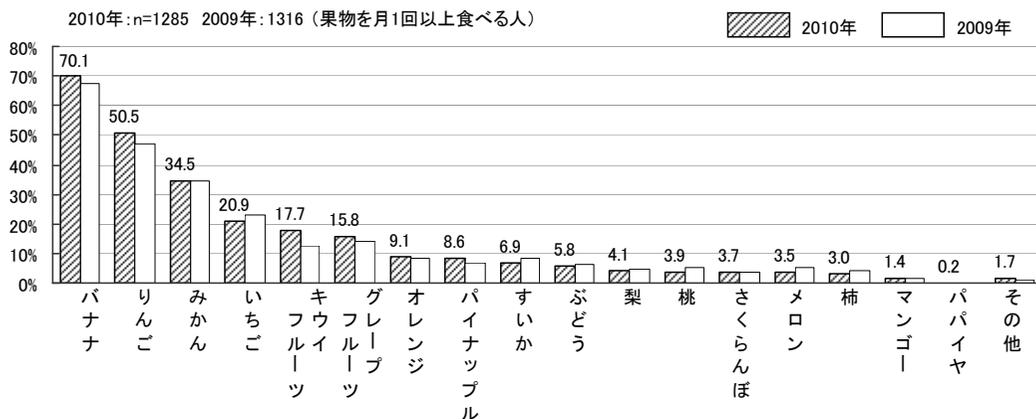
		人数
合計		1442
性別	男	721
	女	721
性別-年齢層	男-10代	103
	男-20代	103
	男-30代	103
	男-40代	103
	男-50代	103
	男-60代	103
	男-70歳以上	103
	女-10代	103
	女-20代	103
	女-30代	103
	女-40代	103
	女-50代	103
	女-60代	103
	女-70歳以上	103

よく食べる果物

「バナナ」…70.1%、「りんご」…50.5%、「みかん」…34.5%、「いちご」…20.9%

バナナは回答者の7割がよく食べる果物として挙げており、6年連続、よく食べる果物の1位です。

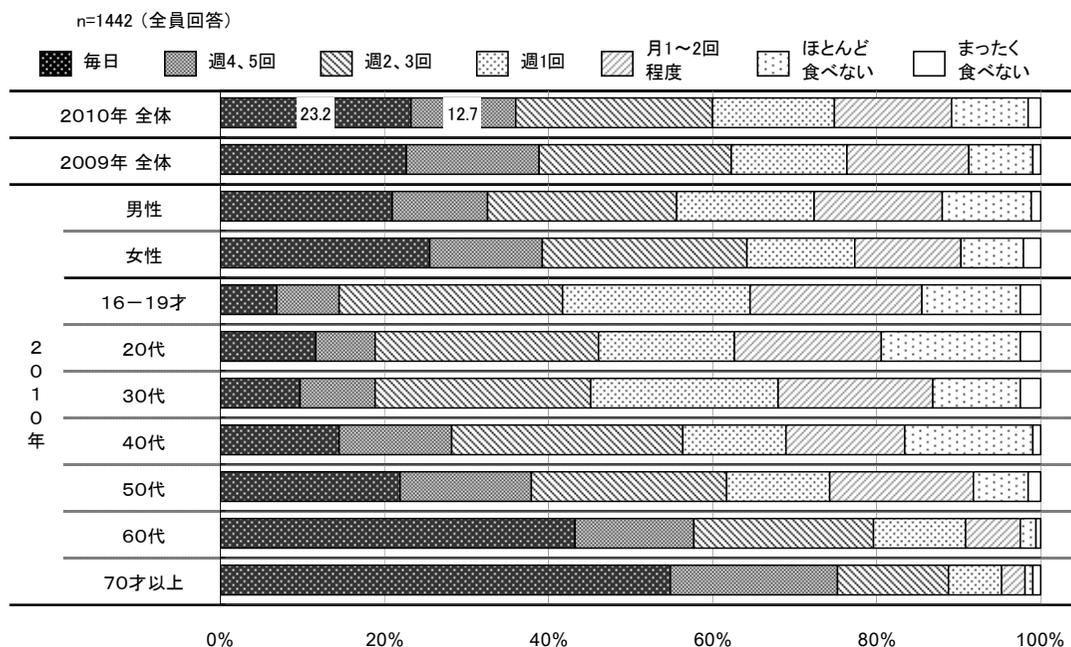
Q. あなたがよく食べる果物をお選びください。(複数回答/3つまで)



果物を食べる頻度

「毎日」が約23%、「週4、5回」が約13%で、全体の約1/3が「週に4~5回以上」果物を食べています。「毎日」果物を食べる人は、男性よりも女性が多く、年齢が高くなるほど増える傾向がみられます。

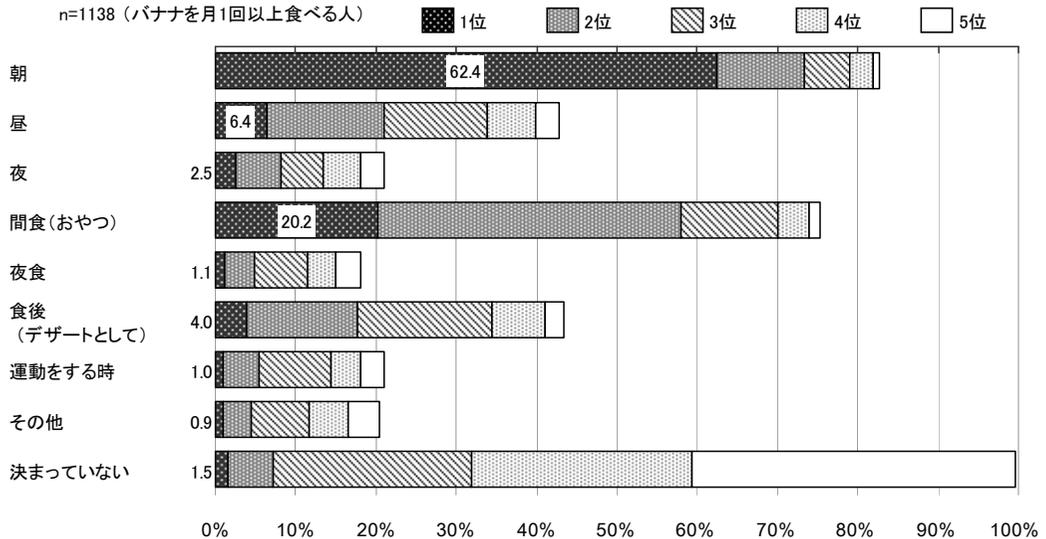
Q. あなたはどのくらいの頻度で果物を食べますか。(単一回答)



バナナを食べることが多いタイミング

バナナを食べるタイミングの1位をみると、「朝」が約62%と極めて高く、「間食(おやつ)」が約20%と続いています。

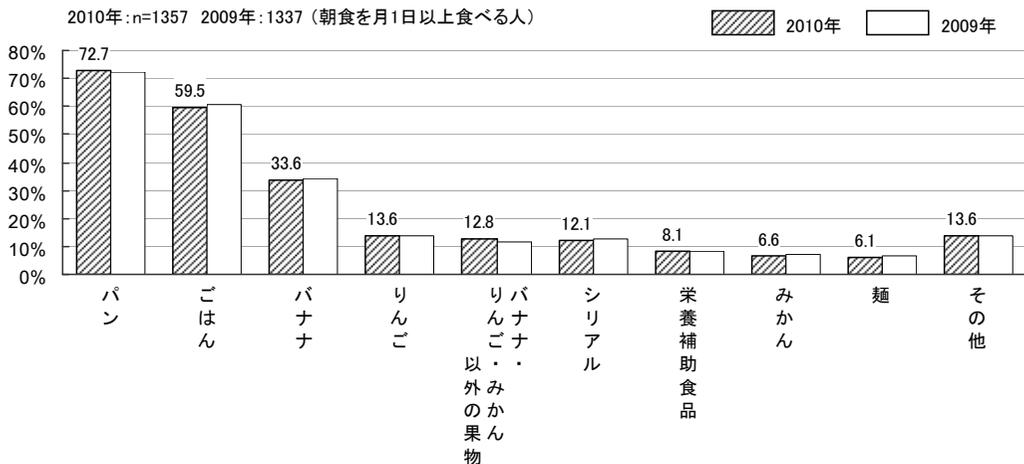
Q. あなたはバナナをいつ食べる人が多いですか。(食べる人が多い順に5位まで)(各単一回答)



朝食に食べる物

「パン」が約73%で最も高く、次いで「ごはん」約60%、「バナナ」約34%と続いています。時系列でみると、2010年度は2009年度とほぼ同様の傾向でした。

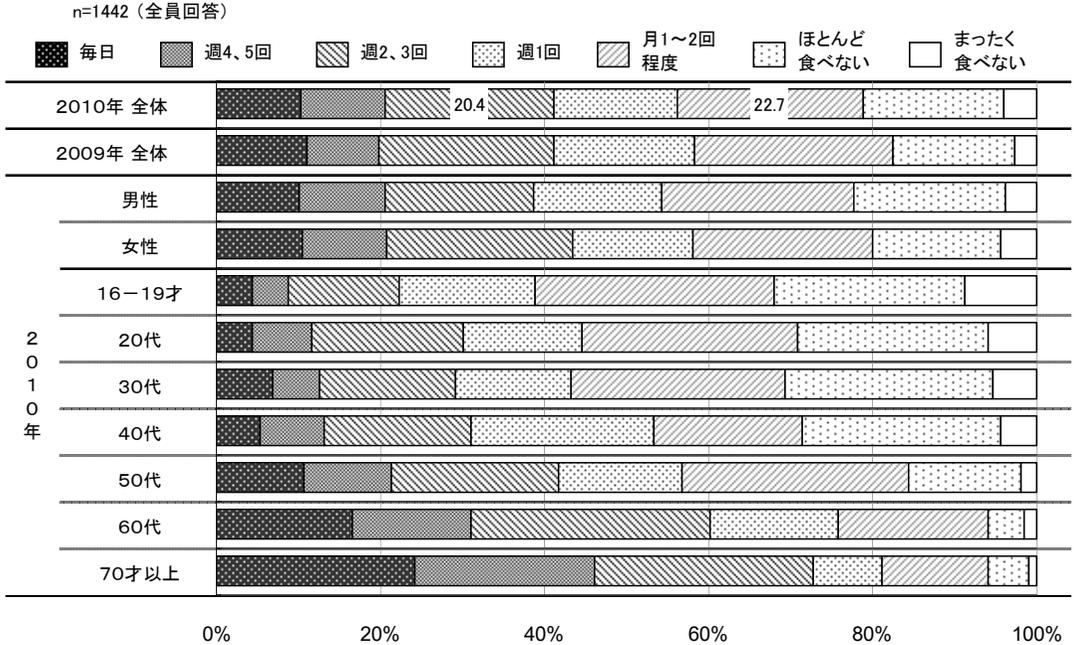
Q. あなたは朝食にどんなものを食べますか。(複数回答)



バナナを食べる頻度

「月1〜2回程度」が約23%と最も多く、次に「週2、3回」が約20%で続きます。
40代以上では、半数以上がバナナを「週1回」以上食べていると回答しています。

Q. あなたはどのくらいの頻度でバナナを食べますか。(単一回答)



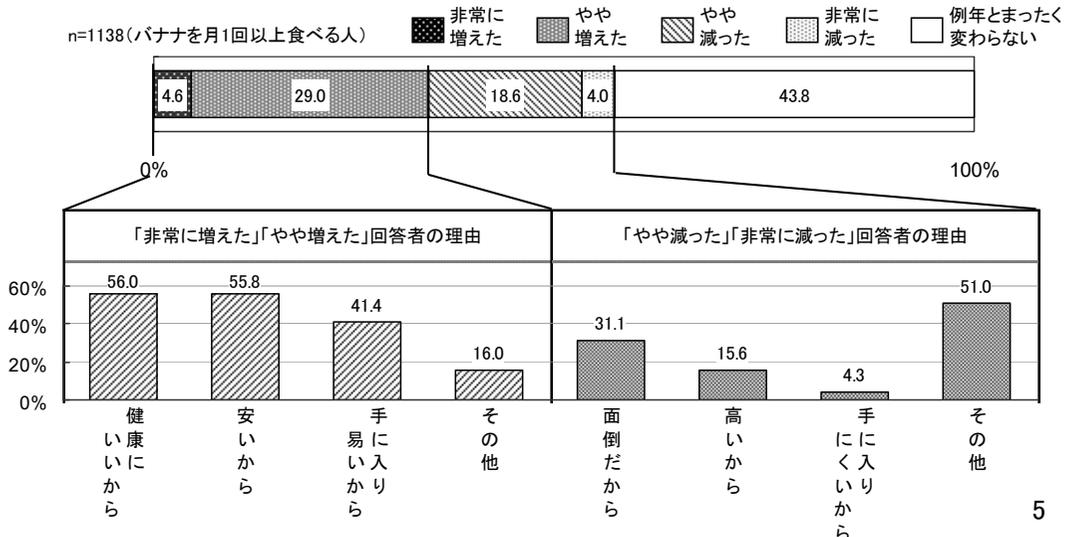
この1年でバナナを食べる頻度(量)が変化した理由

「非常に増えた」「やや増えた」をあわせて約34%、「やや減った」「非常に減った」をあわせて約23%でした。

「(非常に・やや)増えた」理由としては、「健康にいいから」、「安いから」がそれぞれ約56%で上位です。「(やや・非常に)減った」理由をみると、「面倒だから」約31%が上位です。

Q. この一年で、バナナを食べる頻度(量)はどのように変化しましたか。(単一回答)

Q. この一年でバナナを食べる頻度(量)が変化した理由をお答えください。(複数回答)

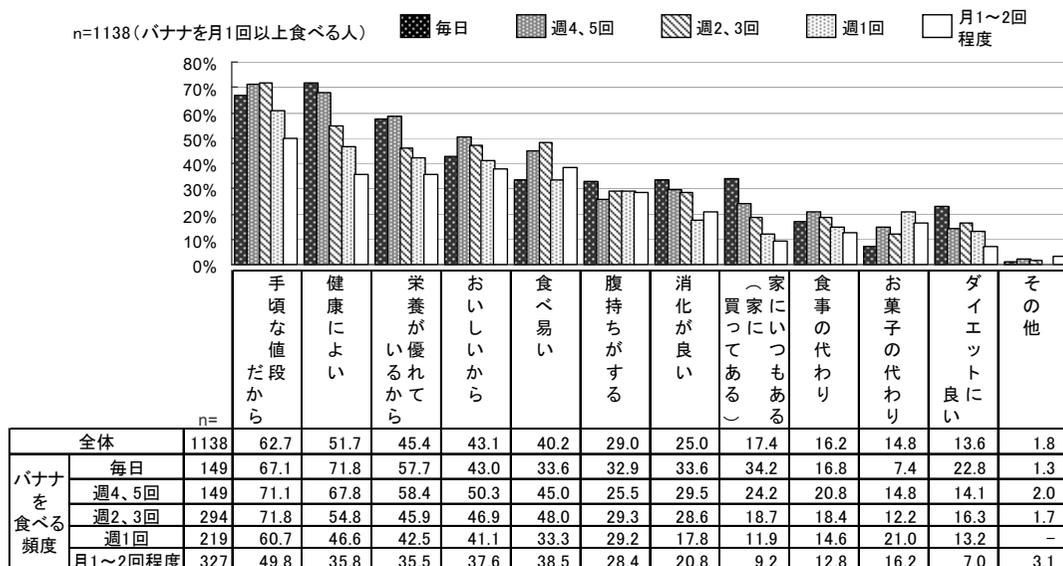


バナナを食べる理由

「手頃な値段だから」が約63%でトップ。次いで、「健康によい」(約52%)、「栄養が優れているから」(約45%)といった『(体に良い)効果・効能』が上位に挙がっています。

「健康によい」、「栄養が優れているから」は、バナナを食べる頻度が多くなるほど、増える傾向がみられます。

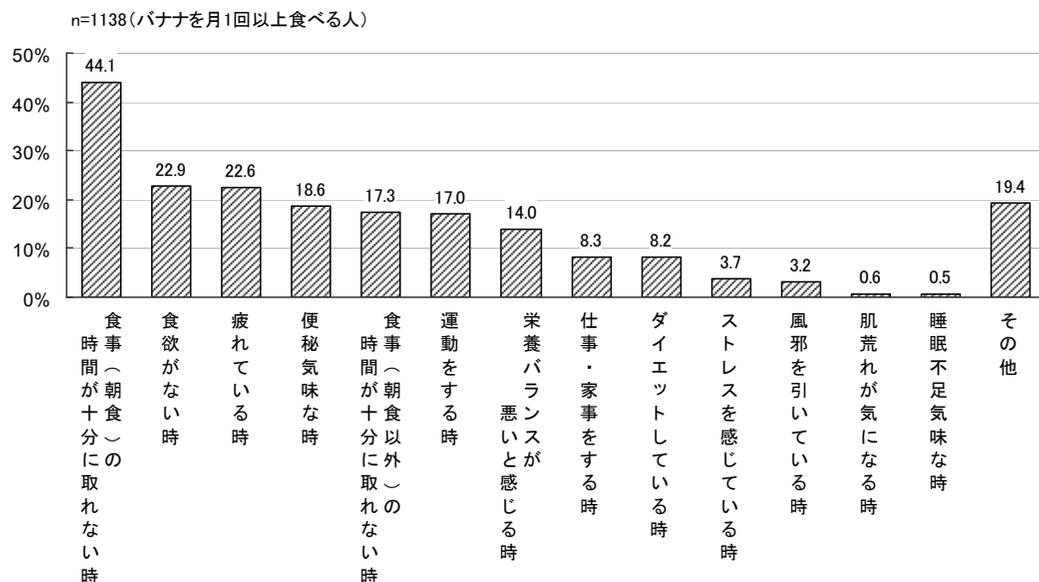
Q. あなたがバナナを食べる理由をお選びください。(複数回答)



バナナを食べているシーン

「食事(朝食)の時間が十分に取れない時」が約44%で最も高く、「食欲がない時」約23%、「疲れている時」約23%が続いています。

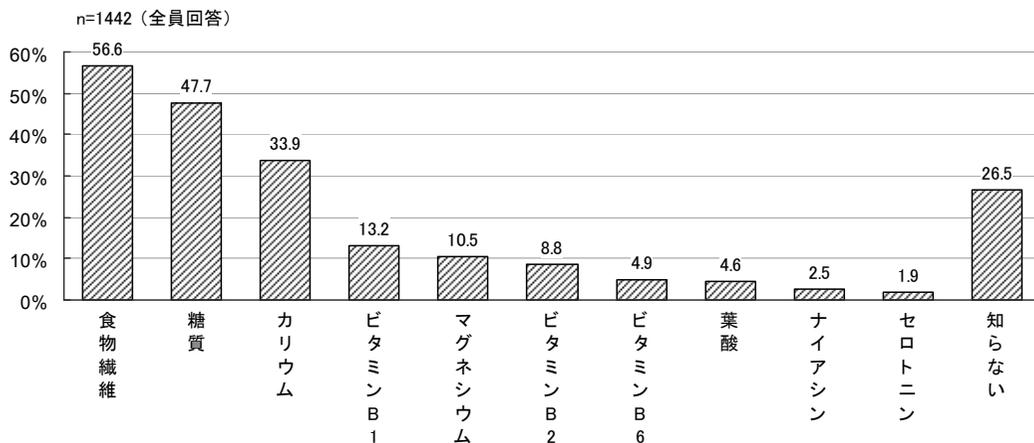
Q. あなたはバナナをどんな時に食べていますか。(複数回答/3つまで)



知られているバナナの栄養素

トップは「食物繊維」で約57%、次いで、「糖質」約48%、「カリウム」約34%が続いています。その他の栄養素の認知度は、2割未満で低くなっています。

Q. あなたが知っているバナナの栄養素をお選びください。(複数回答)

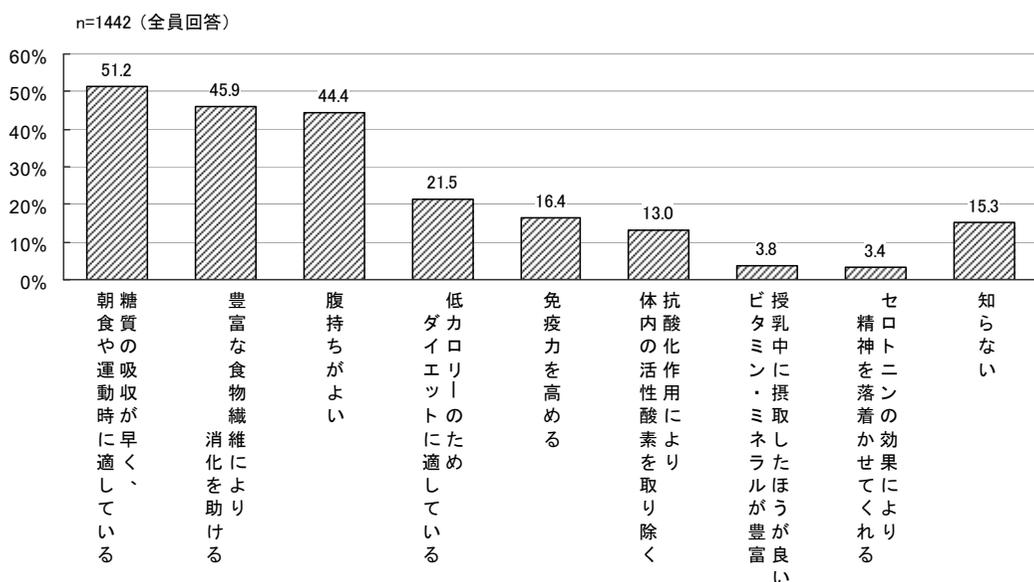


知られているバナナの効果・効能

「糖質の吸収が早く、朝食や運動時に適している」約51%、「豊富な食物繊維により消化を助ける」約46%、「腹持ちがよい」約44%がよく知られています。

一方、「低カロリーのため、ダイエットに適している」「免疫力を高める」は、2割前後の認知でした。

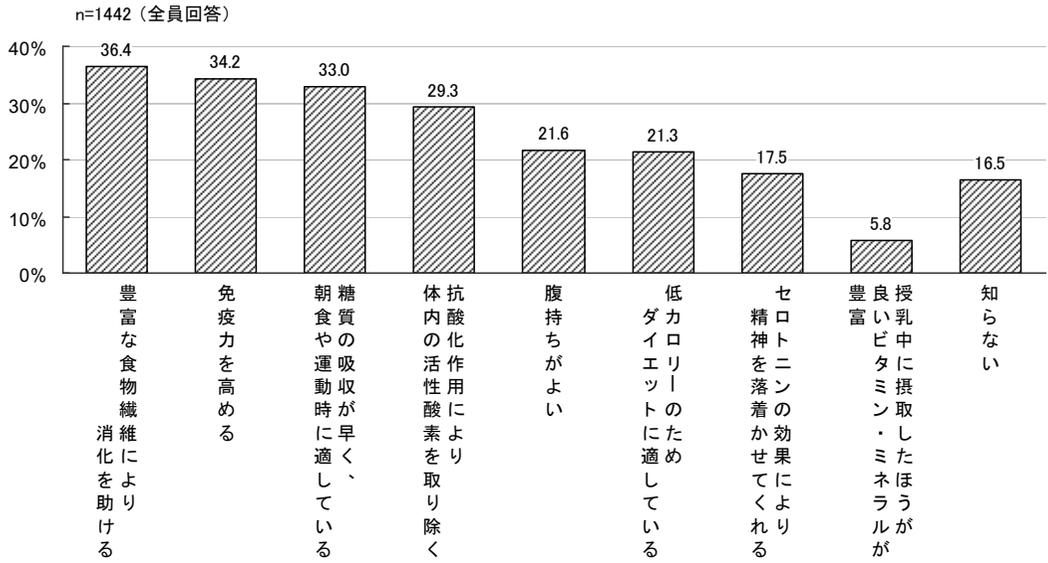
Q. あなたが知っているバナナの効果・効能をお選びください。(複数回答)



気になるバナナの効果・効能

「豊富な食物繊維により消化を助ける」「免疫力を高める」「糖質の吸収が早く、朝食や運動時に適している」「抗酸化作用により体内の活性酸素を取り除く」がいずれも約3割～4割で、上位に挙がっています。

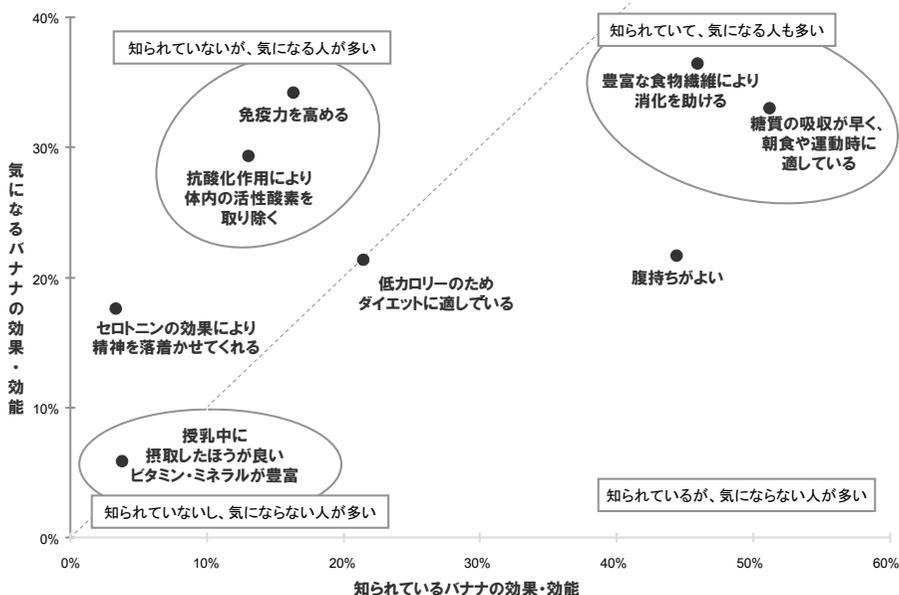
Q. 以下の中から、あなたが気になるバナナの効果・効能をお選びください。(複数回答/3つまで)



知られているバナナの効果・効能×気になるバナナの効果・効能

下の図は、バナナの効果・効能について、知られているものと気になるものの割合の関係を示したものです。

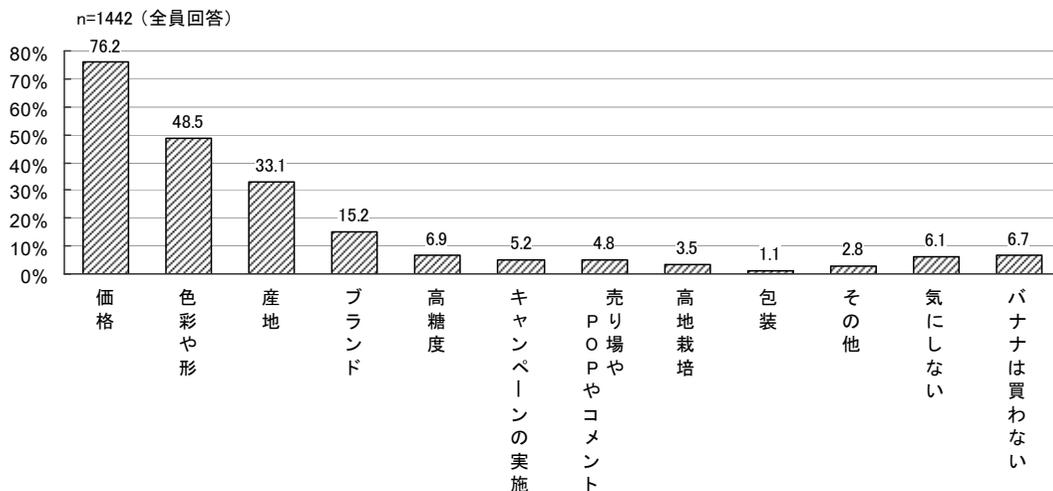
『知られていないが、気になる人が多い』効果・効能としては、「免疫力向上」「抗酸化作用」が挙げられます。



バナナを買うときの基準

「価格」が約76%で最も高く、次いで「色彩や形」約49%、「産地」約33%が続いています。その他の項目は、いずれも2割未満で、あまり購入基準としては高くないようです。

Q. あなたがバナナを買う時の基準をお選びください。(複数回答)



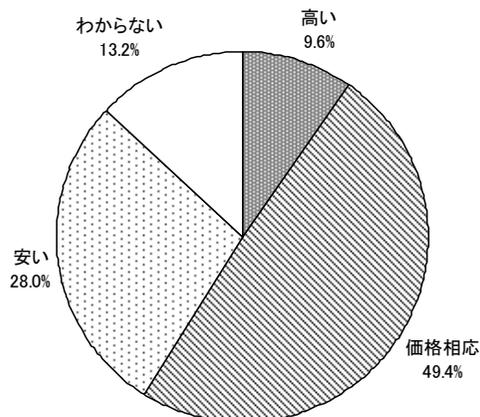
バナナの価格意識

「高い」約10%、「価格相応」約49%、「安い」約28%で、どちらかといえば安いイメージが強い様子がみて取れます。

「価格相応」と「安い」をあわせると8割弱に達することからも、バナナはコストパフォーマンスの良い果物とも考えられます。

Q. あなたは現在のバナナの価格についてどう思いますか。(単一回答)

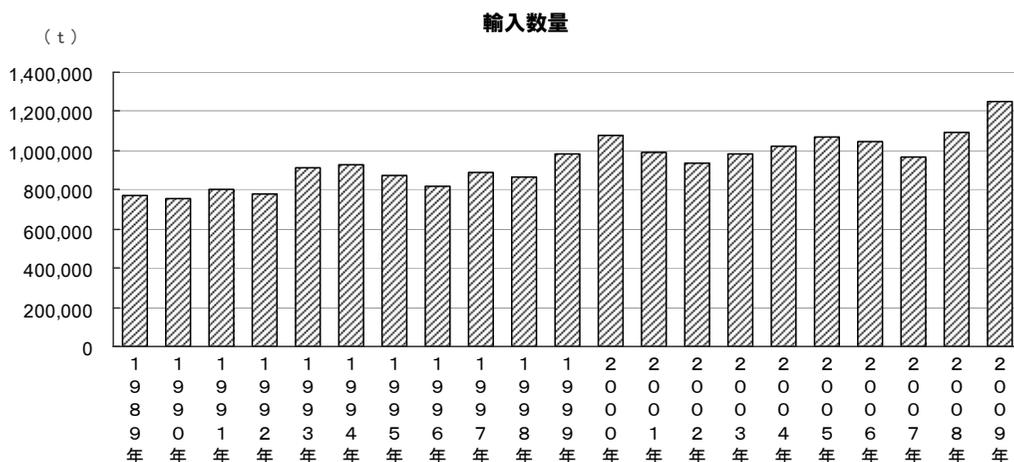
n=1442 (全員回答)



統計資料 (財務省貿易統計・総務省統計局家計調査より)

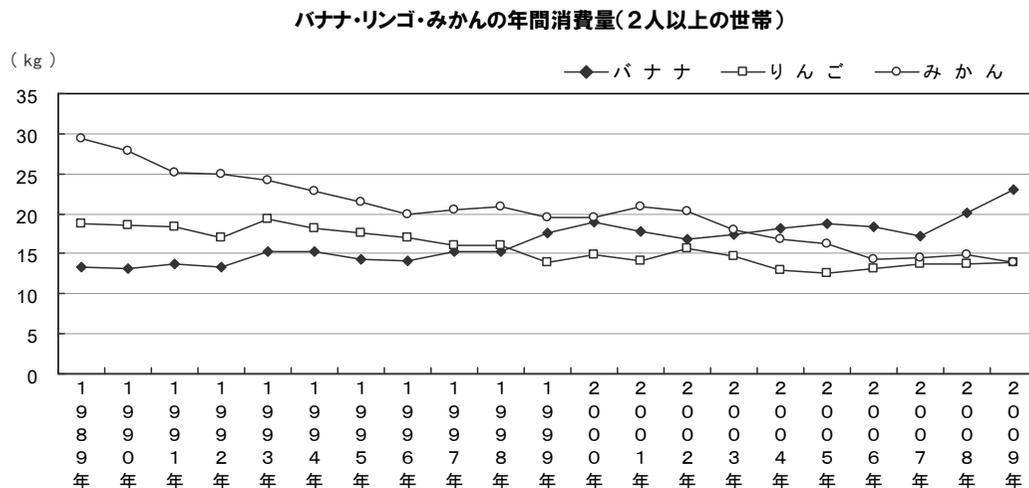
財務省貿易統計

財務省貿易統計のデータによると、2009年のバナナ輸入数量は約125万トンでした。前年と比べると、約16万トン増で大幅に増加しています。



総務省統計局家計調査 (世帯区分：2人以上の世帯)

2004年にみかんを抜いて1位となって以来、バナナは果物の年間消費量の1位を保持しています。2009年度の年間消費量は、昨年よりもさらに増加し、過去20年間で最も高い約23kgとなりました。



発行

日本バナナ輸入組合

東京都千代田区内神田 1-3-1 トーハン第三ビル

お問合せ先

日本バナナ輸入組合広報室

TEL 03-5577-4765

バナナ大学 ホームページ <http://www.banana.co.jp>